グラフで見る
独立80年のインドネシア

自己紹介

1975/4～1981/6　ヤマハ㈱入社　インドネシア工場立上支援分野配属

1981/6～1987/3　インドネシア工場生産課長　電子鍵盤楽器の組立生産

1987/3～1995/7　インドネシア工場長　電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化

1995/7～2005/3　帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト

2005/3～現在　ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立

インドネシア語翻訳・通訳

静岡大学客員教授、専修大学客員講師

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家

独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー

一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事

などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社

インドネシアと
の関わりも51年
になりました

セミナー要旨

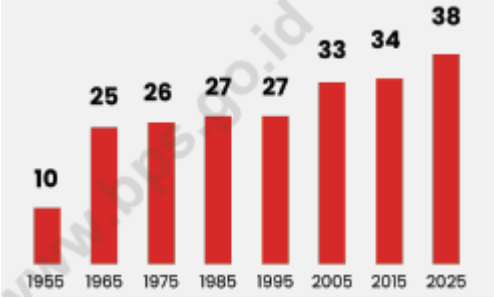
- インドネシア共和国は1945年に独立してから今年で80年になります。
- これを機に、インドネシア統計センターから『インドネシア独立80年の分析』と題する90ページの報告書が発行されました。
- このセミナーでは、この中から日本企業に関係のある項目のグラフを抽出し、コメントを付けて解説します。

目次

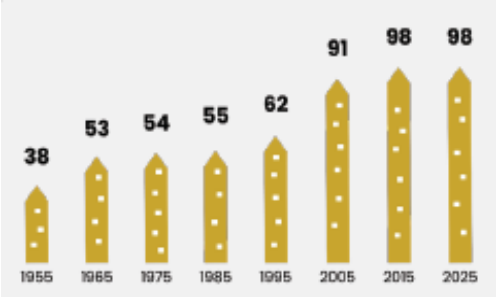
1. 地方政府の発展
2. 総人口および人口増加率
3. 年齢層別人口構造
4. 推定寿命
5. 業種別就業者数
6. 高等教育進学率
7. 病院での出産妊婦数割合
8. 適切な生活環境の住宅割合
9. 安全な飲料水普及率
10. 安全なトイレ普及率
11. 貧困層の割合
12. 犯罪被害者率
13. 石炭生産量
14. ニッケル生産量
15. エネルギー安全保障
16. 浄水供給量
17. 電力需給割合
18. 大中規模企業数
19. 小零細規模企業数
20. 公共インフラ
21. 外国人観光客
22. インフレ率
23. 国内総生産
24. 経済成長
25. 自然災害

1. 地方政府の発展

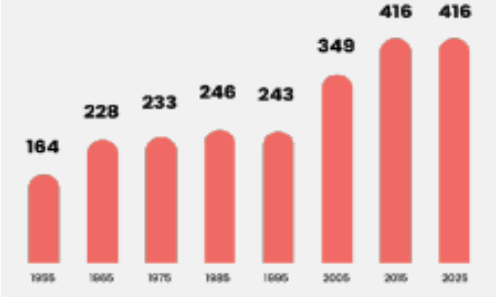
州の数



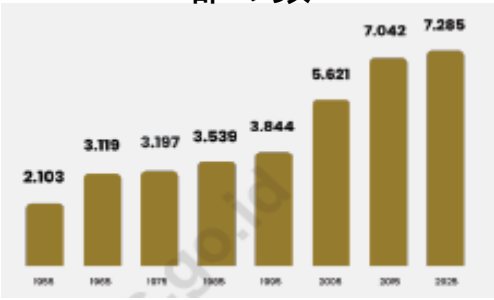
市の数



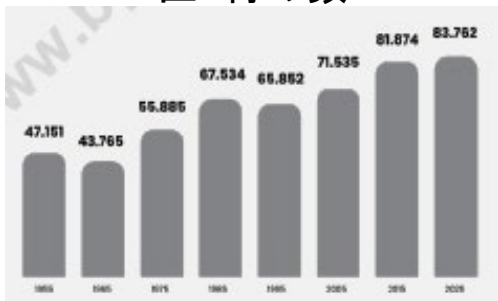
県の数



郡の数



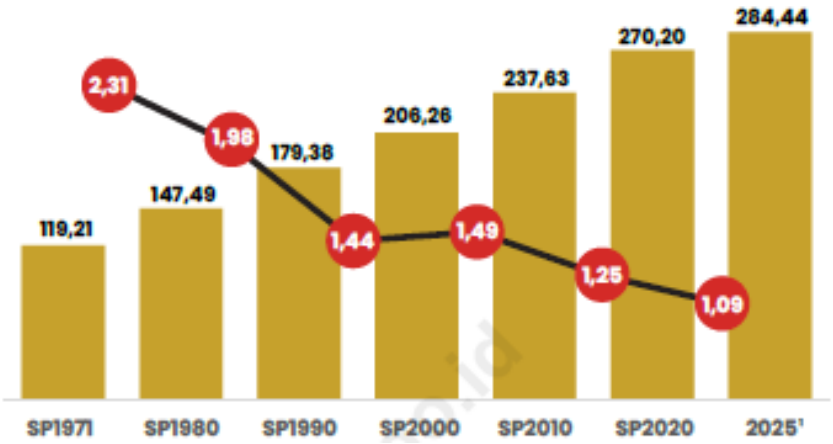
区・村の数



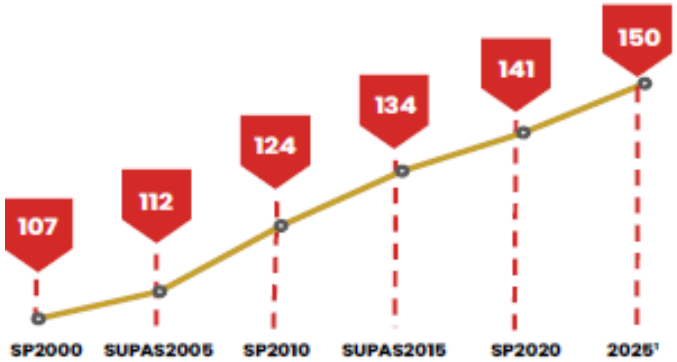
1955年から2025年にかけての70年間の地方政府の増加は、1965年のスハルト軍事独裁体制発足と、2005年のユドヨノ民主体制発足に合わせて顕著に現れている。

州	10→38	3.8倍
市	38→98	2.6倍
県	164→416	2.5倍
郡	2,103→7,285	3.5倍
区・村	47,151→83,782	1.8倍

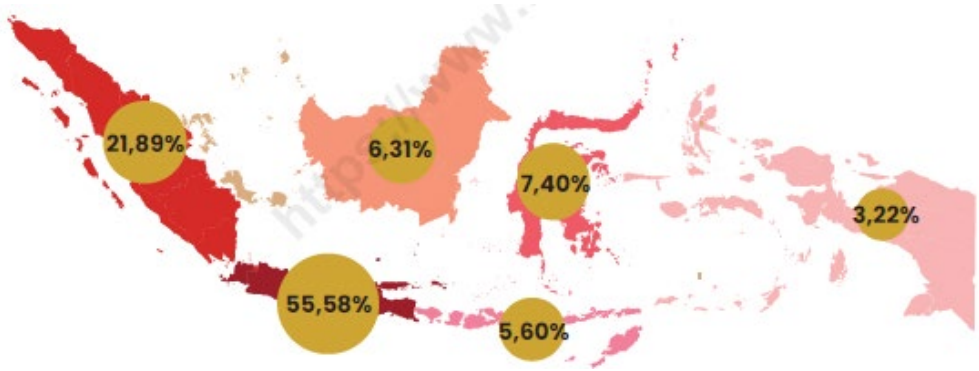
2. 総人口および人口増加率



総人口（百万人）・人口増加率



人口密度（人/Km²）



島別人口割合（2025年）

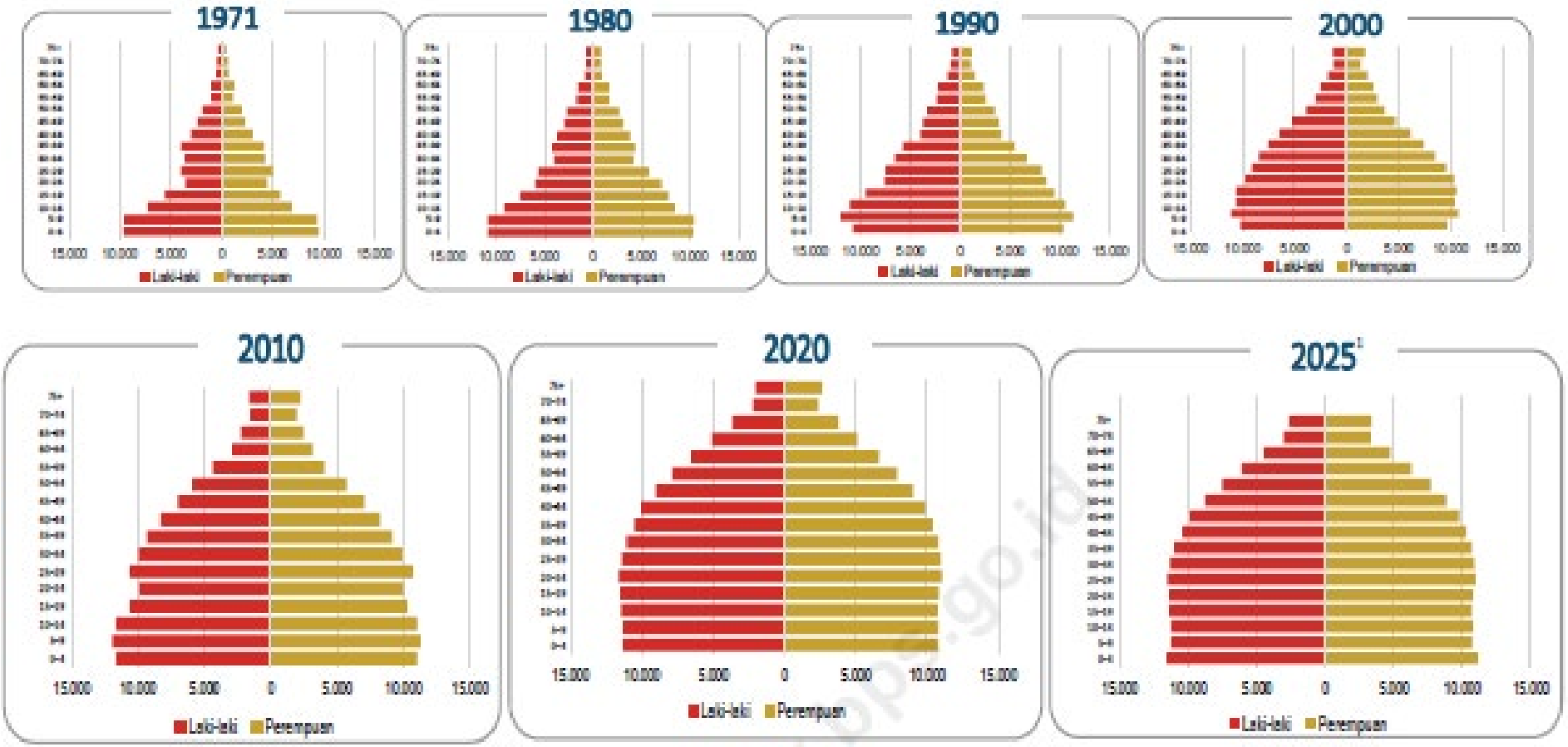
総人口は増加を続けているが、
増加率はピークを過ぎている。

2024年における世界ランキング
総人口第4位
人口増加率第122位
人口密度第77位

総人口の77%はジャワ島とスマトラ島に集中している。

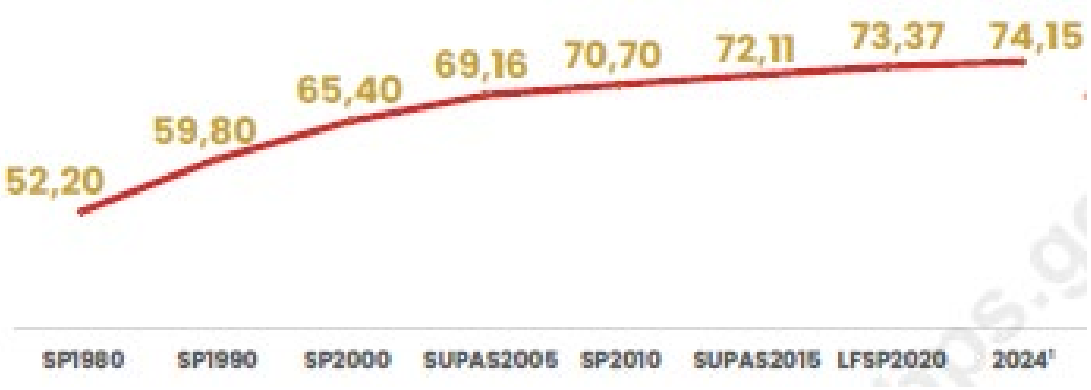
3. 年齢層別人口構造

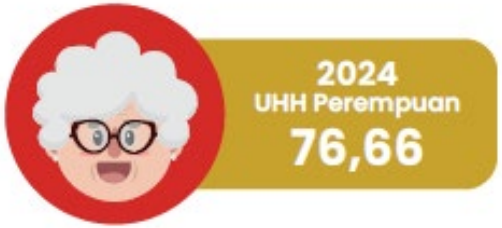
1990年を境に、理想的なピラミッド型が釣り鐘型に変りつつあるが、少なくとも後半世紀は労働力が不足することは無いと言われている。



左側:男性　右側:女性

4. 推定寿命





誕生年度別の推定寿命は、

平均　74.15歳

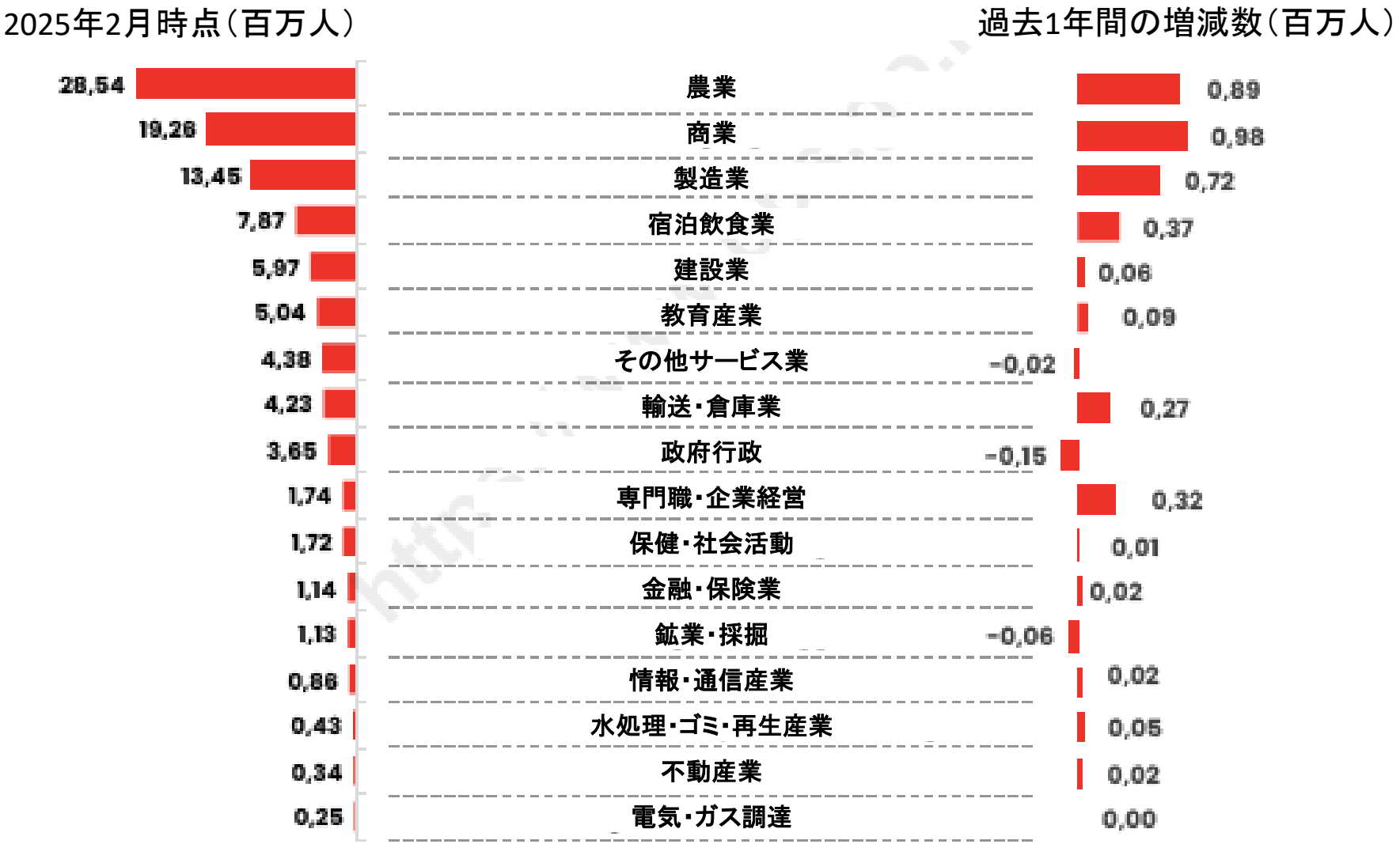
男性　71.75歳

女性　76.66歳

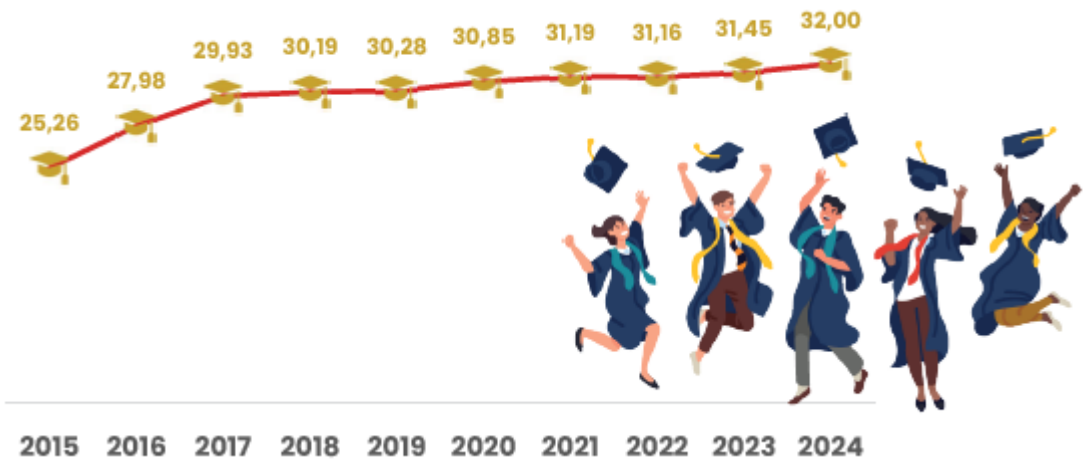
2023年は平均71.15歳で世界第147位

5. 業種別就業者数

食糧自足を維持するために、農業就業者の更なる継続的な増加が望まれる。



6. 高等教育進学率



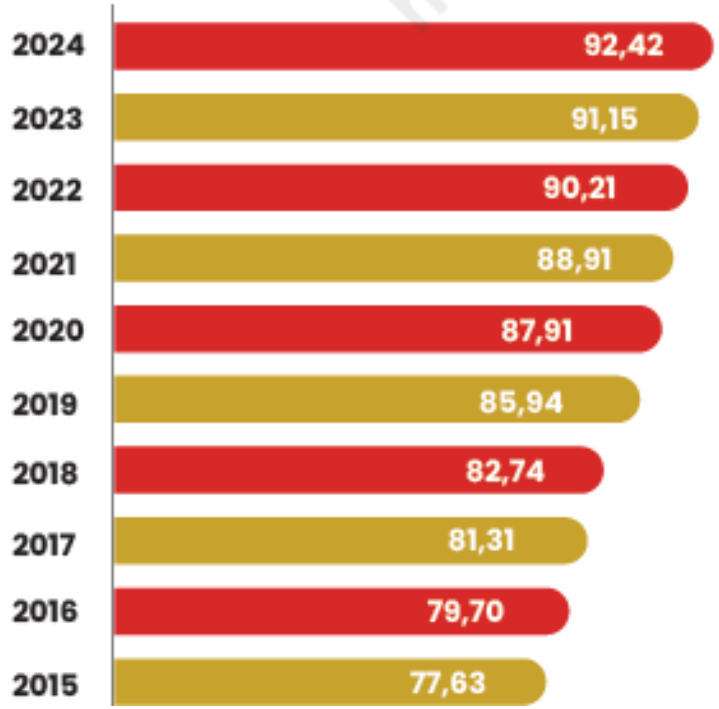
高等教育とは以下を意味する;

- 専門学校
- 短期大学
- 大学
- 大学院

州別では最高がジョグジャカルタ特別州の73.9%、最低がパプア山岳州の12.23%である。

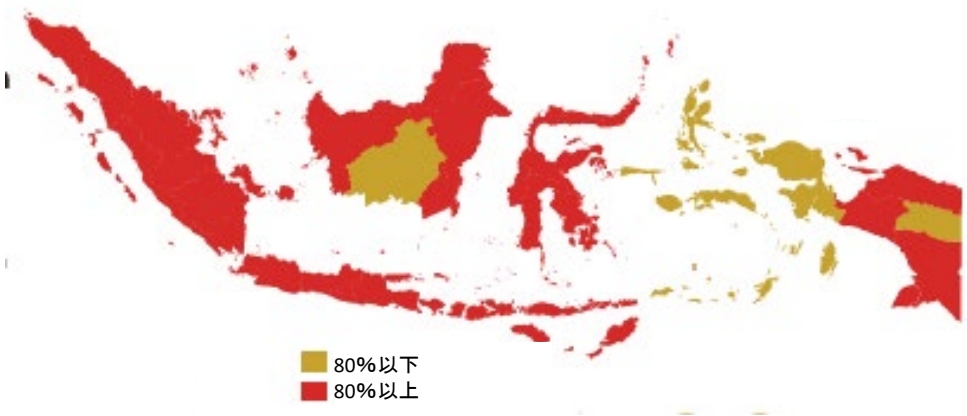
ジョグジャカルタ特別州には、ガジャマダ大学を筆頭に、多くの大学が存在し、50万人の学生が滞在していると言われる。

7. 病院での出産妊婦数割合

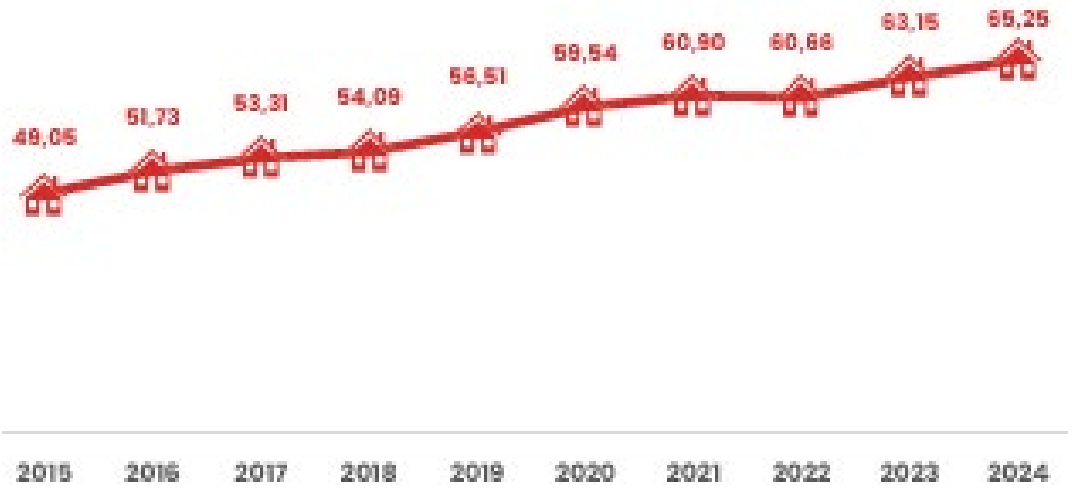


15歳から49歳の妊婦を対象とする。

首都ジャカルタ特別州、ジョグジャカルタ特別州、バリ州では100%に達している。



8. 適切な生活環境の住宅割合

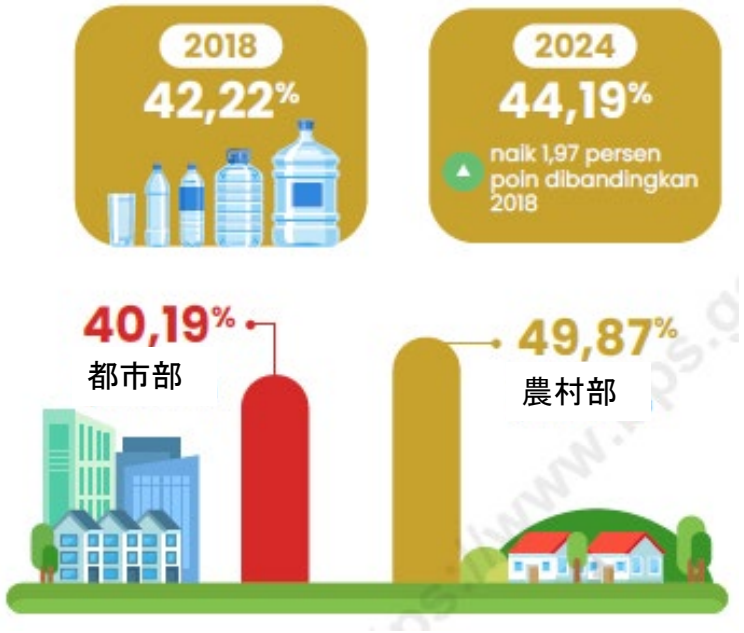


適切な生活環境の条件;

1. 1人当りの住居スペースが最低7.2㎡
2. 飲料水が確保されている
3. 衛生的なトイレがある
4. 耐久性のある建物

最高はジョグジャカルタ特別州の86.68%で、最低はパプア山岳州の4.44%である。

9. 安全な飲料水普及率

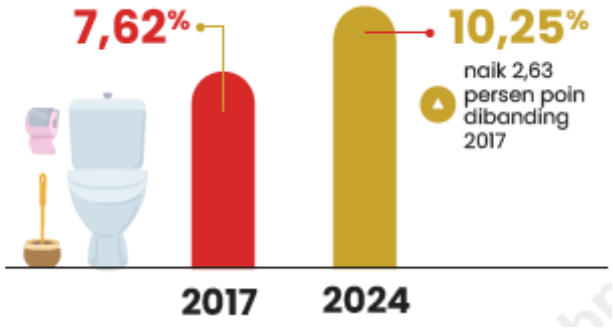


2018年から2024年までの6年間で約2%改善された。

都市部に比べて農村部の方が普及率が高い。

ジョグジャカルタ特別州が最高の67.65%で、リアウ州が最低の13.46%である。

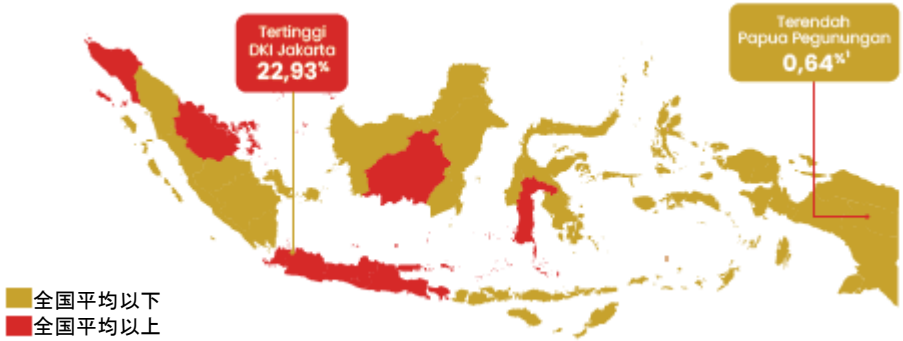
10.安全なトイレ普及率



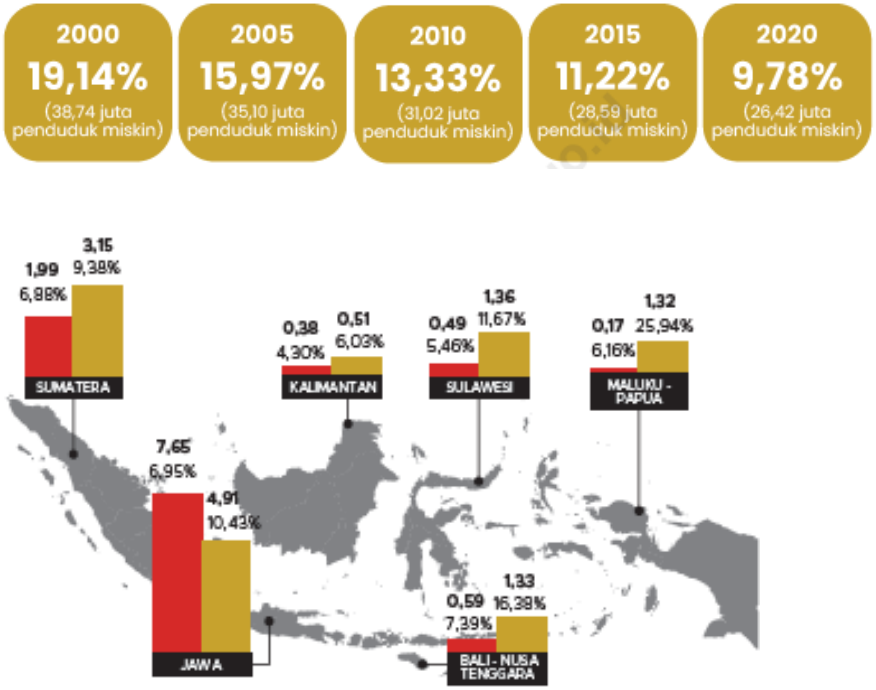
安全なトイレとは、下痢、発育阻害、その他菌による病気を防止出来るだけでなく、快適な利用が可能であるものを言う。

2024年時点では、都市部が14.10%であったのに対し、農村部は4.77%であった。

州別では首都ジャカルタ特別州が最高の22.93%で、最低はパプア山岳州の0.64%であった。



11.貧困層の割合



USD40/人・月以下で生活している国民が貧困層と定義されている。

2020年には全国民の9.78%であった。

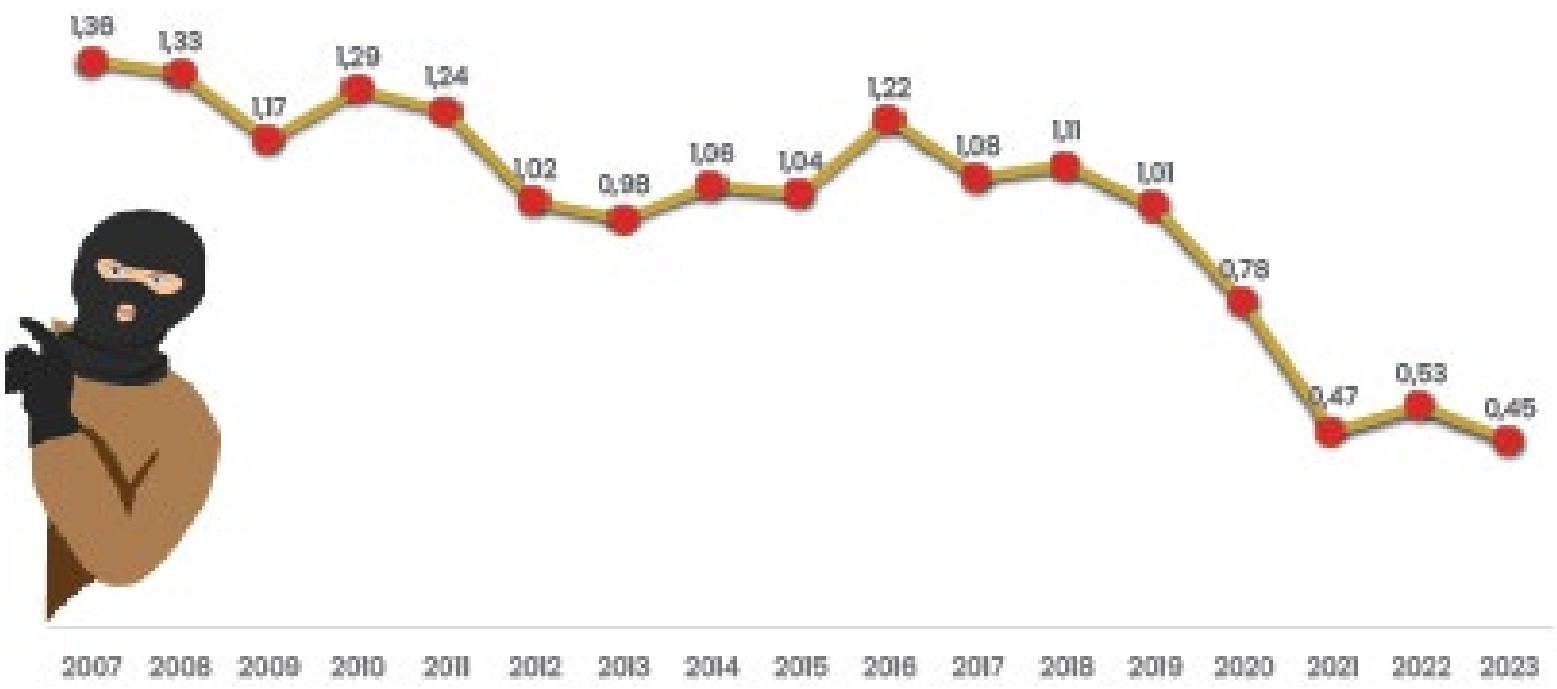
2025年3月時点の島別では、マルク・パプアの農村部が25.94%で最も高く、カリマンタンの都市部が4.30で最も低い。

貧富の格差を示す2025年のGINI係数は、0.375は英国、米国並みである。

12.犯罪被害者率

犯罪被害者率は2007年の1.38%から2023年の0.45%へと1/3に減少した。

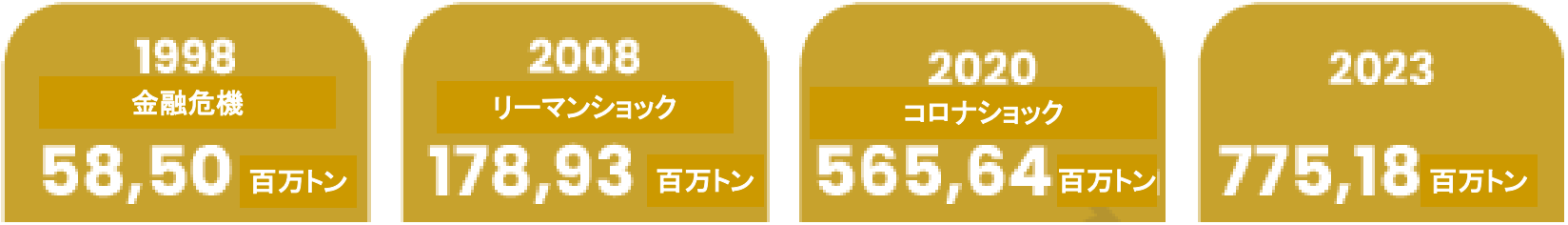
2023年のデータでは、被害者の23.36%が警察に被害届を出し、63.17%が男性、93.39%が成人となっている。



13.石炭生産量

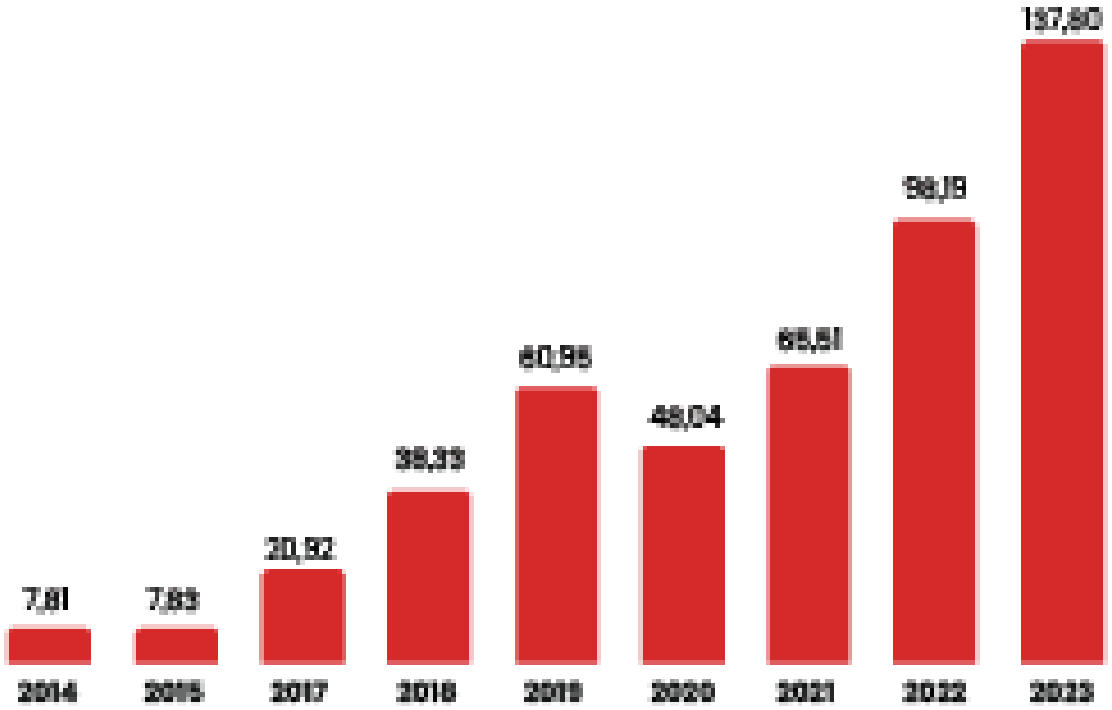
石炭生産量は1996年から2023年にかけて、数々の経済危機を乗り越えて、15倍に増大した。

2024年には国内エネルギーの91.77%を提供する源になっている。



14.ニッケル生産量

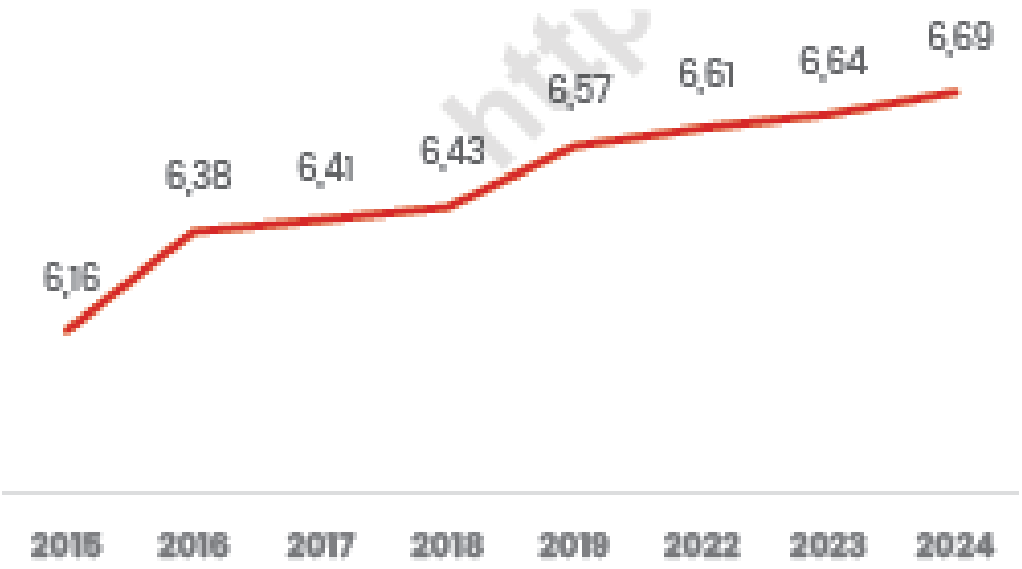
2014年から2024年の、ジョコウィ前大統領の電気自動車世界供給拠点化政策の下、リチウムイオン電池の材料として、世界最大の埋蔵量を誇るニッケルの生産量は17倍に急増した。



15.エネルギー安全保障

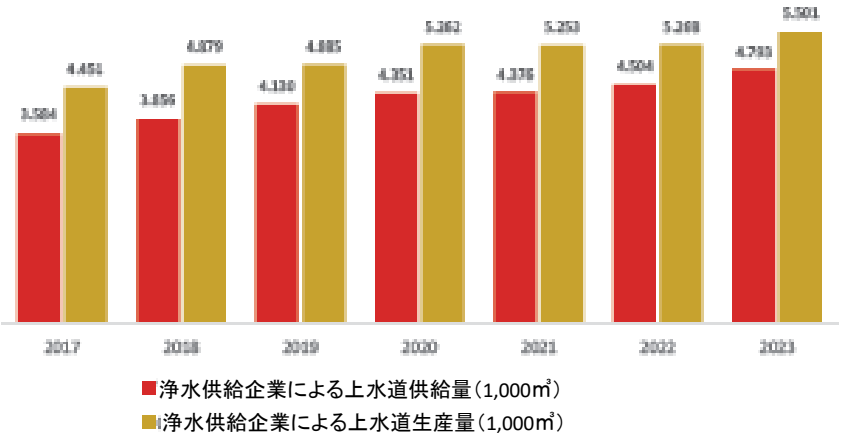
エネルギー安全保障は年々改善されている。

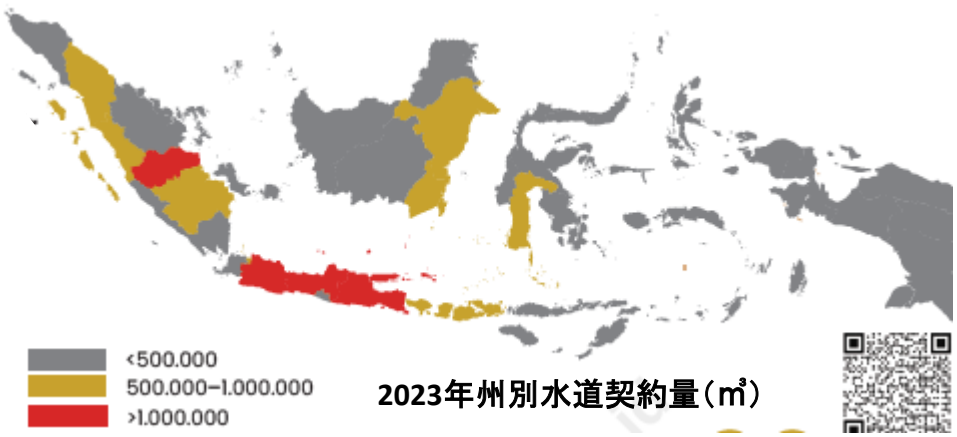
2024年における再生可能エネルギーの割合は、目標19.49%に対して、実績は14.68%に留まったが、2017年は6.71%であった。



8-10	高度に保障されている
6<	保障されている
4<	保障は不足している
2<	保障が危うい
0<	非常に危うい

16.浄水供給量





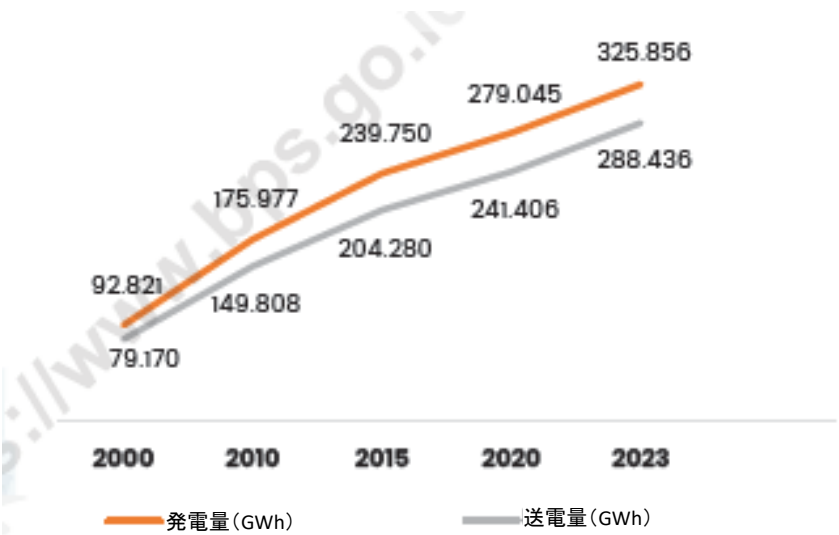
2023年州別水道契約量（㎥）

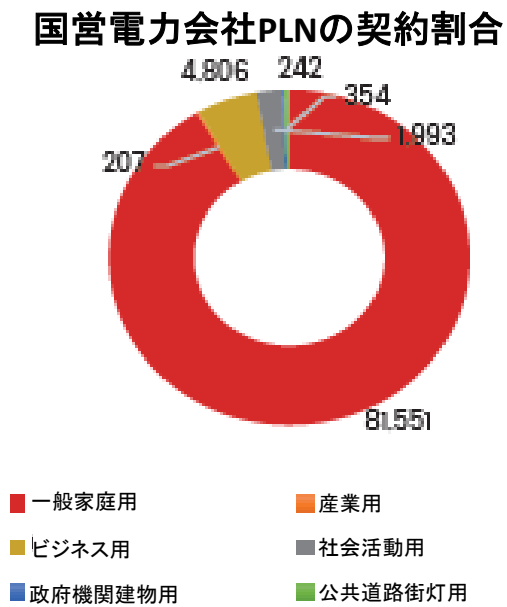
人口増加と経済成長の割合に比べて上水道が増えていないのは、ボトル飲料水の急増が理由と思われる。

浄水生産会社は1980年には190社であったが、2023年には550社に増えた。

上水道の漏れ率は2010年は33.49%であったが、2023年には12.87%に改善された。

17.電力需給割合





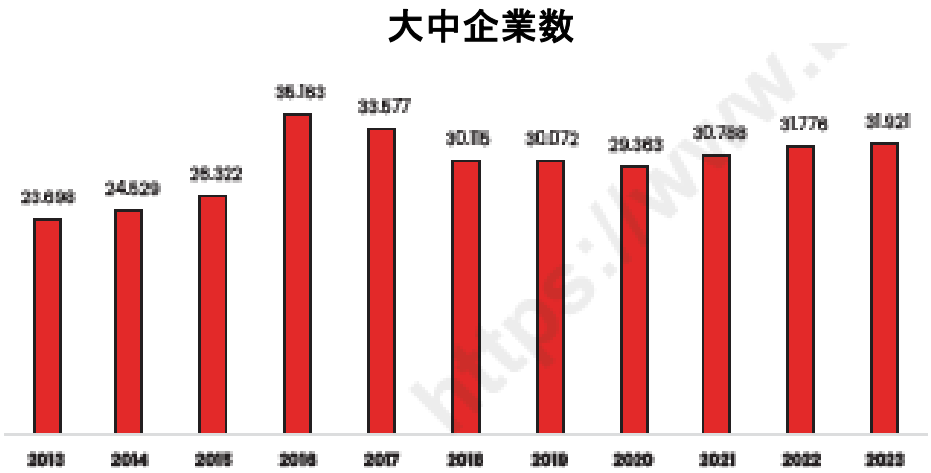
2024年の国民1人当り電力消費量は1,377KWhであるが、これはアセアン平均の3,896KWhを大きく下回っている。

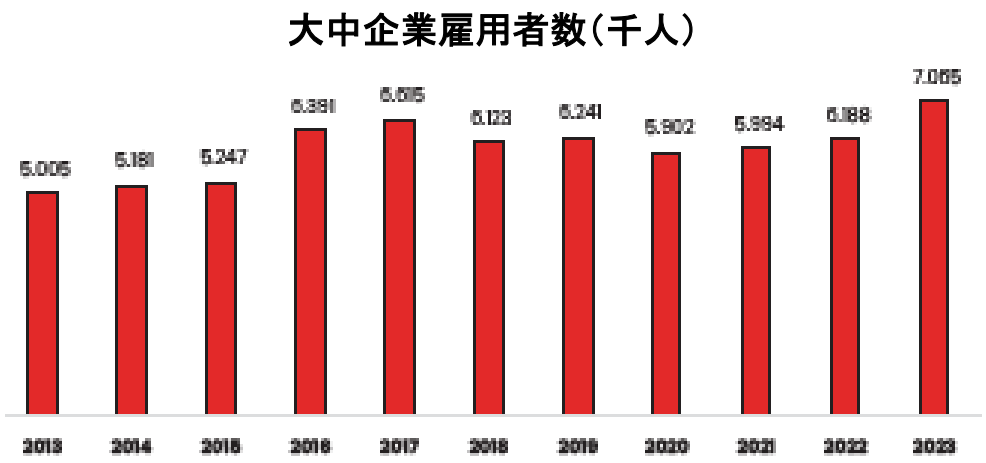
全消費量の66%はジャワ島とバリ島に集中している。

2010年以降、再生可能エネルギーの割合は、毎年7.5%増加している。

国営電力会社PLNの発電容量の推移:
2000年　20,850 MW
2023年　73,460 MW

18.大中規模企業数





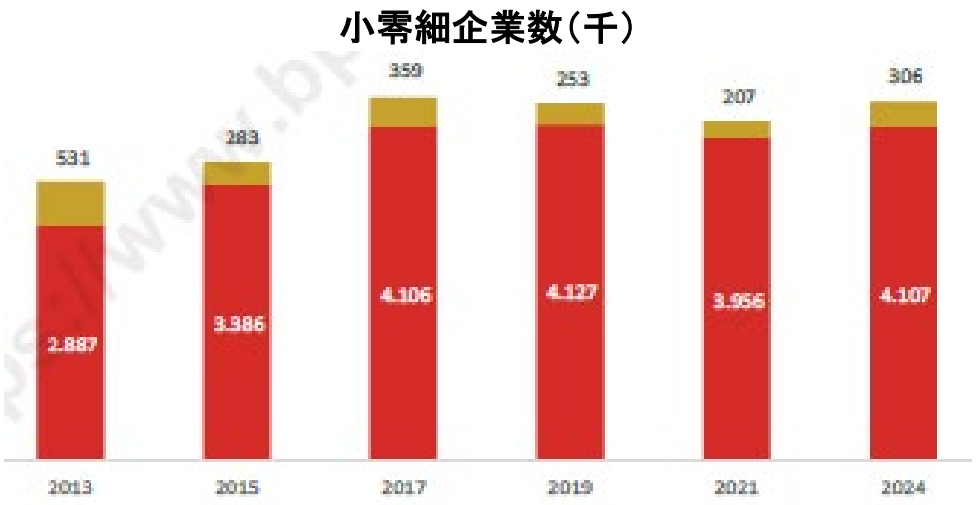
大中規模企業数は2013年の23,698社から2023年には31,921社へと25.76%増加した。

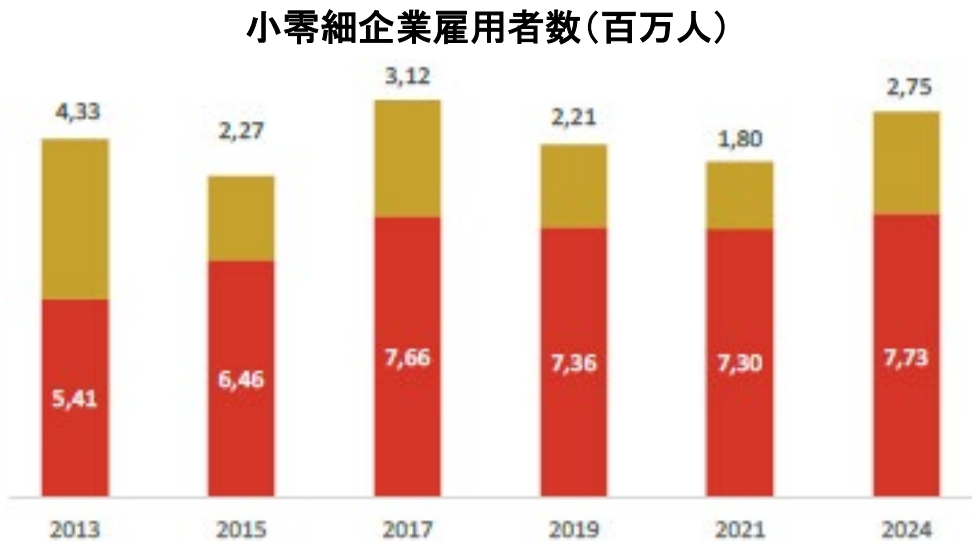
31,921社の内、8,699社は西ジャワ州に集中している。

2013年から2023年に売上を大きく伸ばした産業；（×10億）
食品　　Rp.901,892→Rp.2,260,454
基礎金属Rp.132,219→Rp.1,004,231
化学品　Rp.453,209→Rp.　828,378

大中規模企業の雇用者数は2013年の5,004,912人から2023年には7,064,783人へと29.16%増加した。

19.小零細規模企業数





小零細規模企業数は2013年の340万社から2023年には440万社へと29.11%増加した。

440万社の内、925,985社は西ジャワ州に集中している。

2013年から2023年に売上を大きく伸ばした産業；

印刷・記録媒体	205.42%増
飲料	88.16%増
化学品	55.23%増

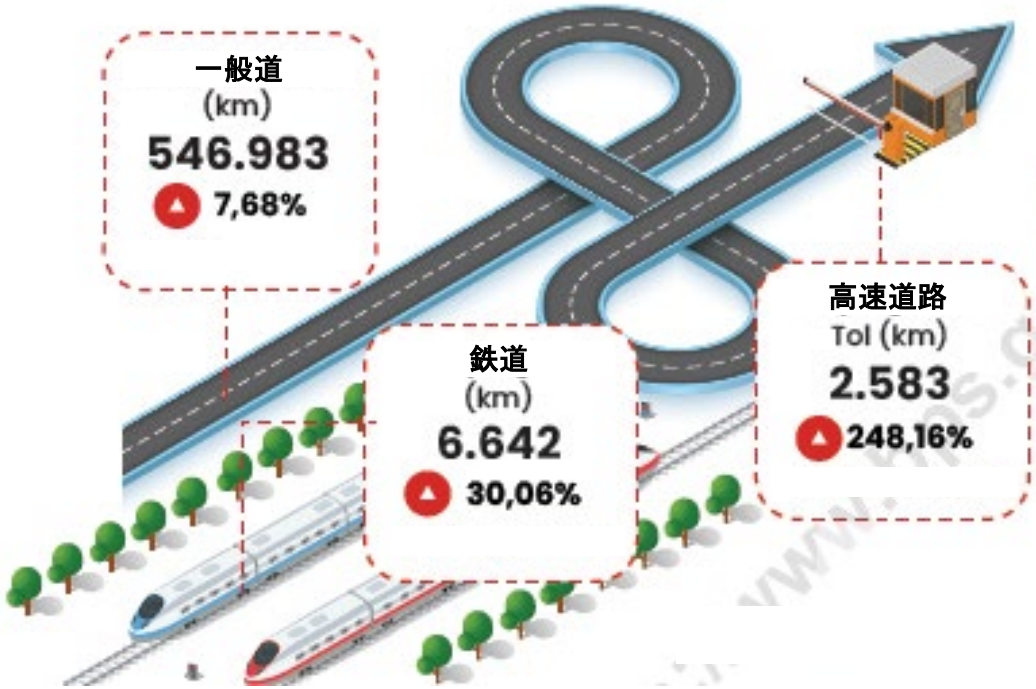
小零細規模企業の主要産業割合；

食品	24.25%
ゴム、樹脂品	8.47%
化学品	6.27%

小零細規模企業の雇用者数は2013年の870万人から2023年には1,080万人へと24%増加した。

20.公共インフラ

2022年一般道路、鉄道、高速道路敷設距離
増加率は対2013年比

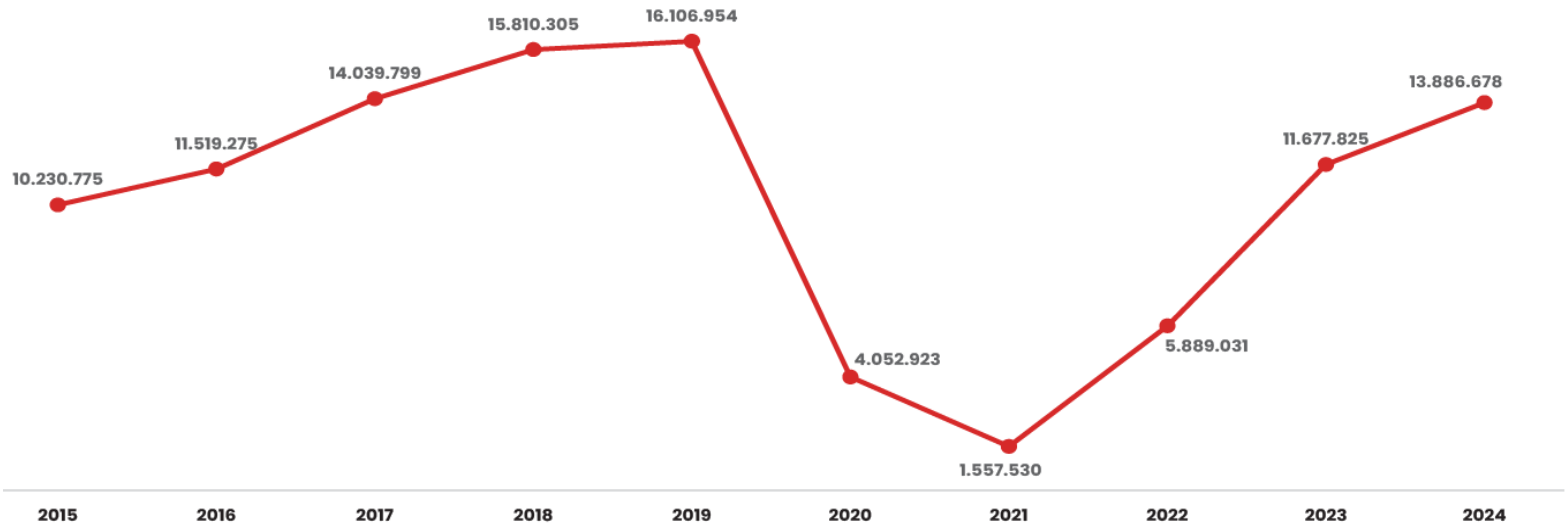


2025年9月時点での
高速道路敷設距離は
3,092.79 Km

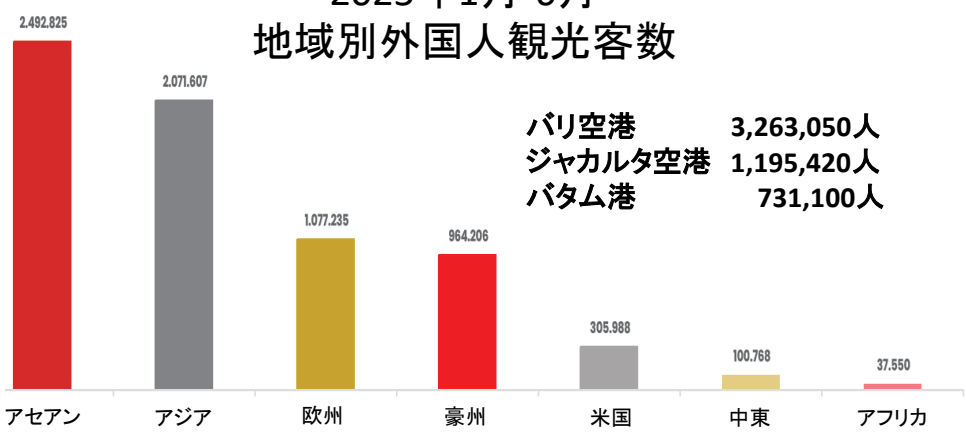
港	民間空港	国営橋	ダム	発電所	ゴミ処理場
611	265	19.011	229	6.314	251

21.外国人観光客

外国人観光客数推移

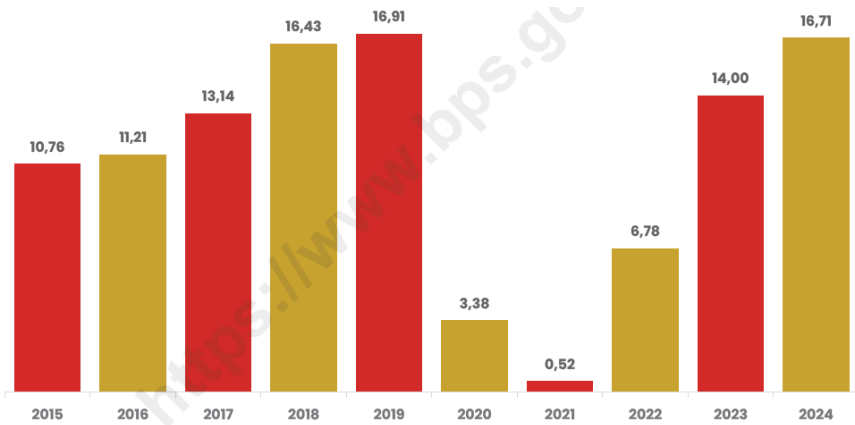


2025年1月-6月 地域別外国人観光客数



バリ空港 3,263,050人
ジャカルタ空港 1,195,420人
バタム港 731,100人

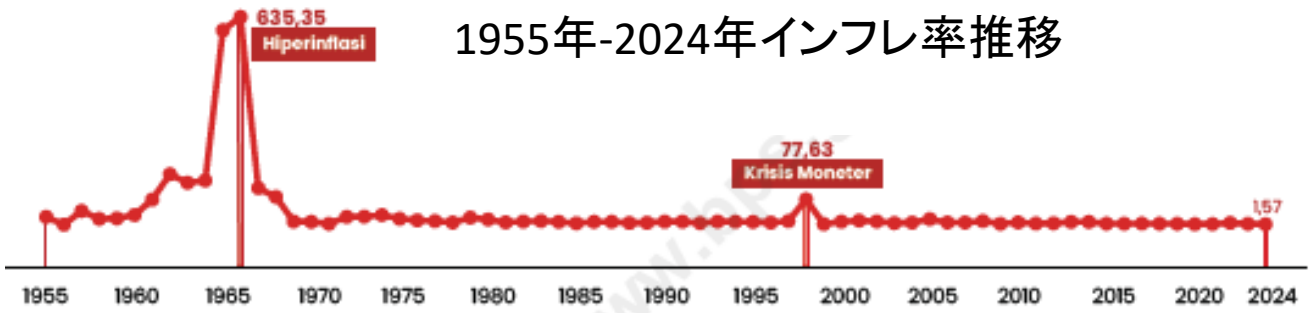
観光収入推移（USD10億）



https://www.bps.go

22.インフレ率

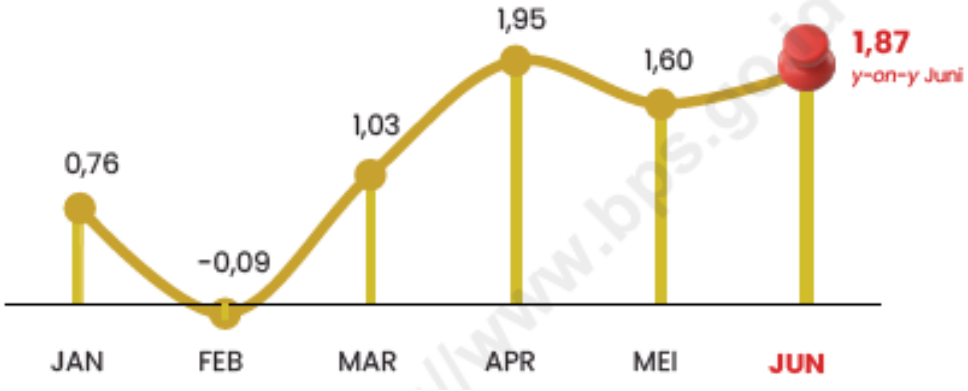
1955年-2024年インフレ率推移



インドネシア共産党革命が起きた1965年と、アジア金融危機の1998年を除き、近年では1.5%前後に落ち着いている。

2025年に入ってからは、消費の低迷があり一時的にマイナスに転じた。

2025年1月-6月対前年インフレ率推移



23.国内総生産

名目GDP Rp.兆

産業分野別名目GDP割合

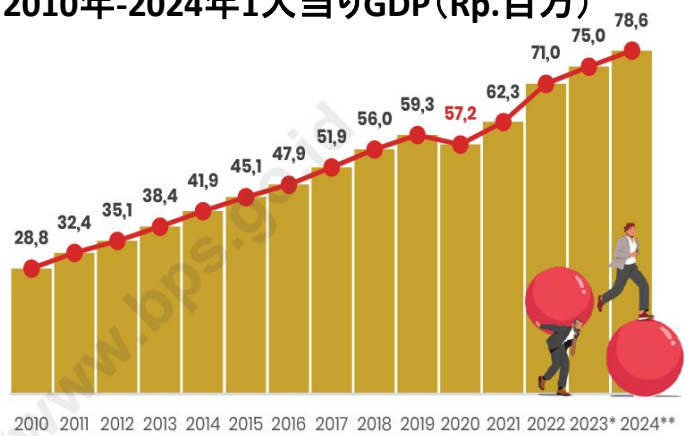
- 製造業
- 大規模商業、小売業
- 農林水産業
- 建設業
- 鉱業、採掘業
- その他

実質GDP Rp.兆

8.564,9 T　10.723,0 T　12.920,3 T

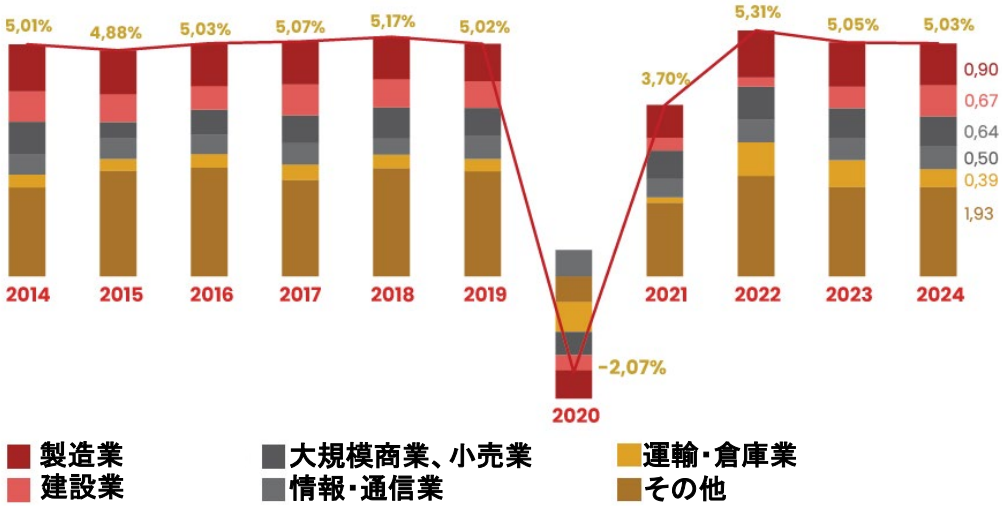
GDPに占める消費割合

2010年-2024年1人当りGDP（Rp.百万）

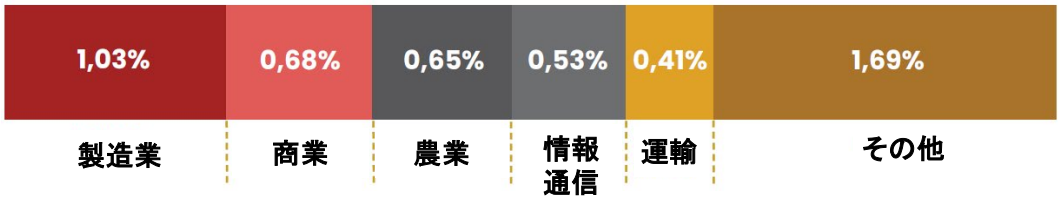


24.経済成長

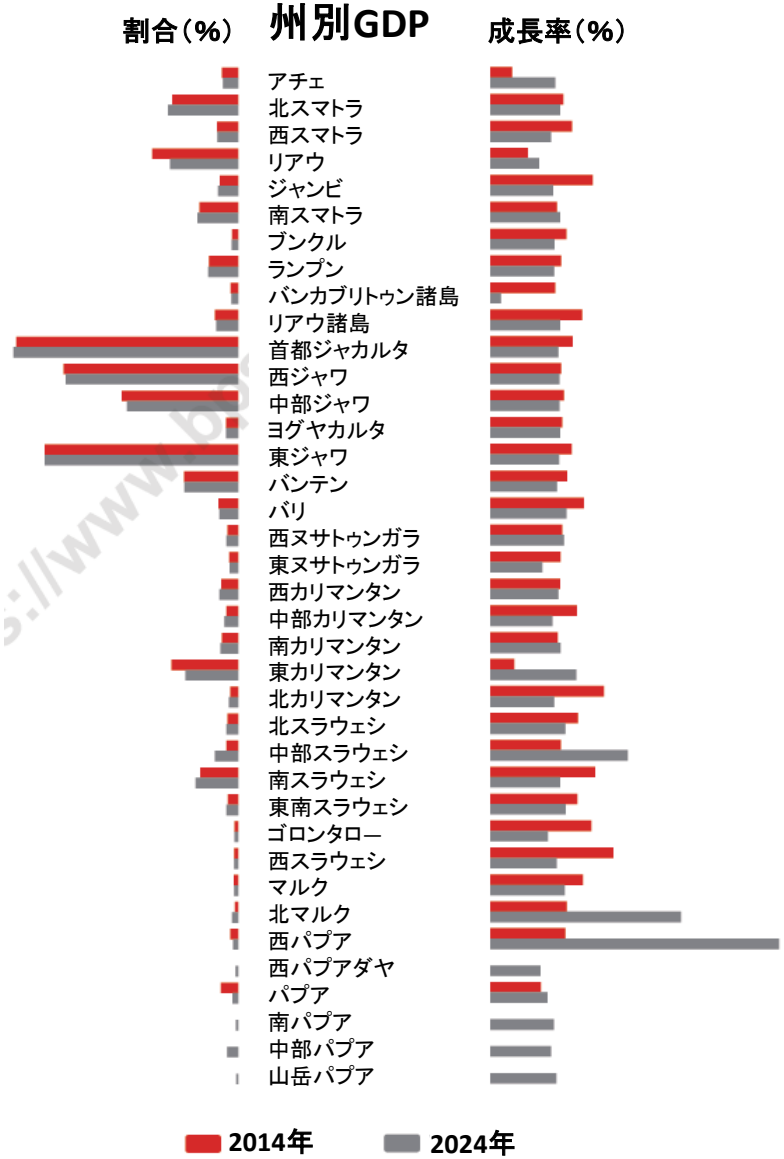
産業別経済成長率推移



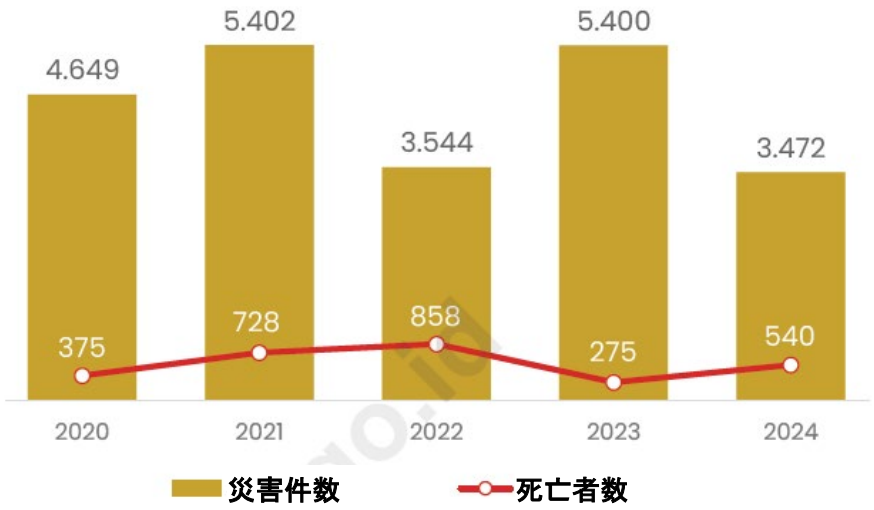
2025年第一四半期産業別経済成長寄与率



州別GDP



25.自然災害



2024年原因別自然災害発生件数

最新のインドネシア情報はこちらから

インドネシア進出サポート公式サイト

https://www.hmkt.jp/

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイトです。
毎月1日発行のメルマガのバックナンバーも掲載しています。
（Googleトップランキング）

インドネシア最新情報ブログ

https://per-inc.com/blog/

あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介しています。

インドネシア進出サポートウエブセミナー

https://www.youtube.com/channel/UCXghuRz7zRX5jLOXu75rQjQ

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています。
インドネシア週刊ニュースダイジェストも毎週月曜日に発信しています。

愛する二つの祖国である、日本とインドネシアの発展のため、
全てのコンテンツは無料で公開されています

ご清聴ありがとうございました
ここからは質疑応答です